

9月定例記者会見会議録概要

2020（令和2）年9月3日（木）午前11時～
市役所本庁5階 第501会議室

1. 市長からの発表

皆さん、こんにちは。

9月に入りました。8月は記録的な暑さとなりましたが、残暑にもようやく衰えが見えてきたようです。市内では、各所で稲刈りも始まっていますが、台風9号・10号が相次いで発生しており影響が心配です。これから、本格的な台風シーズンを迎えますが、新型コロナウイルス感染症が収束していない中での災害発生時には、避難所での感染防止対策など新たな課題もあります。市民の皆さんも避難できる安全な場所の確認と通常を持ち出し品に加え、感染防止対策としてマスクや消毒液、体温計などのご準備をお願いしたいと思います。

(1) 「第39回三重県建築賞」知事賞を受賞しました

伊賀市本庁舎が、一般社団法人三重県建設業協会が主催する「第39回三重県建築賞」の一般部門において、いわゆるグランプリである知事賞を受賞しました。

この賞の対象となる施設は、県内施設の大小を問わず、公共・文教・生産・商業・厚生・集合住宅・団地計画・都市開発・都市公園等で、地域社会の発展に寄与した優秀な建築作品に贈られます。今回、14施設の応募があり、知事賞の他に濱口賞・田村賞・会長賞が選ばれ、8月28日（金）に津市フレンテみえで表彰が行われました。

なお、この知事賞とは別件になりますが、「伊賀市庁舎」の設計監理を担っておりました(株)日建設計では、品質・工費・工期・安全の各面において、模範となる施工管理が行われ、かつ工事の出来栄が特に優れたプロジェクトに対し、年に一度、優秀工事として選定されます。そして、今年の優秀工事として「伊賀市庁舎」が選ばれました。これは、国家プロジェクトなども手掛ける(株)日建設計が1952年から続けている歴史ある賞です。今回は、2019年に手掛けた工事約400棟の中で、約20棟（全体の5%）しか選ばれておりません。「伊賀市庁舎」の施工者である 鴻池・山一特定建設工事共同企業体の施工技術の高さをはじめ、設計監理も含め関係者全員が良いチームワークにより、素晴らしい工事を行ったことが証明され、ついでに、素晴らしい庁舎であると証明されたものと考えております。

(2) ホワイトシャッタープロジェクト事業に関する協定を締結しました

伊賀市消防本部では、民間企業の社会貢献活動による支援を通じて、消防業務に必要な装備の充実を図ることにより、市民の生命、身体及び財産を保護するための取組を推進することを目的に、8月18日（火）に一般社団法人PFI開発支援機構と「ホワイトシャッタープロジェクト事業」に関する協定を締結しました。

この「ホワイトシャッタープロジェクト事業」は、年々激しさを増している自然災害への対応など、複雑・多様化している消防業務に対して、サポートをしたいという企業と自治体とを繋ぐ取組で、消防車両のシャッターに企業のロゴを掲載することで

協賛金を募り、その資金で地域の消防業務や防災啓発活動を支援しようとするものです。

伊賀市としても、民間企業の皆様とともに地域の消防体制を考え、災害に強い地域を、次の世代へとつないでいけるプロジェクトとして有難く、また期待をしているところです。

(3) 多言語（三者間）通訳サービスの運用を開始しました

伊賀市消防本部では、9月1日（火）8時30分から、119番通報時や災害現場で、日本語を母国語としない外国人との円滑なコミュニケーションを図れるよう、電話による多言語通訳サービスの運用を開始しました。

このサービスにより119番通報時に、通報者と119番センター、電話通訳センターの三者を同時に電話接続することで通訳サービスを受けながら、三者間の通話が可能となり、迅速かつ円滑な対応できるようになります。

また、災害・救急現場では、救急隊員が通訳センターに接続した携帯電話を活用し、電話通訳センターを介した通訳サービスを受けることができます。

このサービスは、365日24時間対応で、ポルトガル語・ベトナム語・中国語など19言語が対応言語となっており、市内在住の外国人のほとんどの方に対応できます。

伊賀市消防本部では、緊急時の通報や災害・救急現場において、外国語でのコミュニケーションを提供することで、安心した市民生活と、多文化共生をサポートしていきます。

(4) DVD「おうちでかんたん楽しいフレイル予防」を制作しました

「フレイル」とは、心身の機能が衰えた状態で、健康な状態と介護が必要な状態の中間の段階のことを言います。「フレイル」を放っておくと、要介護になる危険性が高くなります。

伊賀市では、これまで「フレイル」に対して取り組んできておりましたが、特に、今回新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるなか、外出を自粛し、身体を動かす機会が少なくなることで、心身機能や筋力の低下に陥り易く、健康への影響が心配されるため、自宅で手軽にフレイル予防ができるようDVDを制作しました。

制作にあたっては、市の保健師が中心となり企画し、お口の健康編や口腔体操編では、伊賀 歯科医師会、名張・伊賀 歯科衛生士会の協力をいただきました。

編成は5つのパートからできており、専門職とのやり取りを通し、皆さんが楽しく介護予防に取り組める内容となっています。

特に「口腔体操 伊賀 歯科医師会 編」では、唾液の分泌をよくしたり、飲み込む力をつけるためのお口の体操で、伊賀歯科医師会の先生に出演していただきました。

「フレイル」について楽しく学べ、チェック表やクイズを取り入れながら、運動など一緒に参加できるので、高齢者だけでなく、家族でも見てもらえる内容となっています。自宅で観てもらうだけでなく、サロンの場などで皆さんに観てもらうのも良いかと思えます。

DVDは、9月7日（月）より貸し出しを開始します。貸し出しは、地域包括支援センター中部、東部サテライト、南部サテライトと、各支所住民福祉課、健康推進課にて

受付けていますので、ご希望の方はご連絡をお願いします。

なお、「YouTube 忍者市チャンネル」でもご覧いただけますので、ぜひ多くの方にご活用いただきたいと思います。

2. 9月の主な行事予定

(1) 「2020年度 郷土の歴史夜咄会」其の25 の開催

日 時 9月18日(金) 午後6時～午後7時30分

場 所 伊賀市文化会館 ホワイエ

内 容 テーマ がらんしゃ 芑蘭社と すきいきちじゅう 杉井吉従

講 師 地域誌「伊賀百筆」編集長 きたて たてお 北出 楯夫 氏

担 当 伊賀市上野図書館(電話 0595-21-6868)

(2) 人権啓発パネル展の開催

日 時 各会場により異なります(詳細は別紙をご覧ください)

場 所 本庁・市民館等

内 容 「インターネット」、「同和問題Ⅱ」、「LGBTとは?さまざまな性について考える」、「身元調査と部落差別」

担 当 人権生活環境部 人権政策課(電話 0595-26-9683)

(3) 伊賀市本庁舎市民ミニギャラリー(9月展示)

日 時 9月1日(火)～9月29日(火)

午前8時30分～午後5時15分(市役所の開庁時間に準ずる。)

場 所 伊賀市本庁舎4階 市民ミニギャラリー

内 容 やすおか ひろし 安岡 浩さん 版画作品 19点

担 当 企画振興部 文化交流課(電話 0595-22-9621)

(4) 子育て相談広場「にんにんパーク」事業の開催

日 時 9月13日(日)・10月11日(日) 午前10時～午前11時30分

場 所 上野南公園「にんにんパーク」内(伊賀市ゆめが丘七丁目13番地)

内 容 9月13日(日) にんにん体育祭の巻

10月11日(日) ペットボトルでマラカスを作って遊ぼうの術

担 当 健康福祉部 こども未来課(電話 0595-22-9665)

主な質疑応答の概要

【第39回三重県建築賞 知事賞を受賞しました】について】

記者：建築賞は、(平成30年1月庁舎完成の時期とから)1年ずれていると思いますが、昨年(平成31年)は応募しなかったということですか。

管財課：庁舎が完成したのが平成30年1月です。第39回の応募条件が、平成30年1月1日から令和元年12月末の期間に完成のものということで、令和2年1月に施工業者が応募しました。

記者：どのようなところが優秀ということですか。

市長：外観ということと同時に、施行面の免震構造であるとかを取り入れた機能というようなことも入っているようです。

伊賀のまちの中には、過去と時代を分けた素晴らしい建物があるということがこのまちの地域の特徴です。そこに、また平成の建物が加わったということで、大変有難く、嬉しく、市民の誇りになっていくと思います。

【多言語(三者間)通訳サービスの運用を開始しました】について】

記者：伊賀独自の特色などがありますか。

消防本部通信指令課：伊賀市の特徴は、働いている外国人が多く、ポルトガル語や中国語、スペイン語の他に、ベトナム語やタガログ語という言語も入っており、19言語を扱っているところです。

記者：外国人割合が6.27%というのは、県内では何番目ですか。

消防本部通信指令課：三重県下で2番目です。(1位：木曾岬町)

記者：翻訳通訳サービスの事業費を教えてください。

消防本部通信指令課：今年度は、構築に初期費用および9月からの7ヶ月分を含めて13万7,500円の費用となっています。翌年度は、毎月のランニングコストのみで月々1万5,000円です。